

卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

【健康科学部】

健康科学部では、社会の要請に応えうる、高度医療現場でチーム医療を支えるメディカルスタッフに必要とされる高度な医療技術、知識を有し、地域医療を展開できる人材を育成することを目的としています。これを踏まえて以下の資質・能力を修得した者に学位を授与します。

- (1) 社会の要請に応えうる生命科学・医療科学に関する幅広い知識と技能を修得し、課題を解決できる基礎的能力
- (2) チーム医療を支えるメディカルスタッフに必要とされる医療技術、知識を有し、実践するための基礎的能力
- (3) 地域に暮らす人々の生活を理解し、人々と協働し、支援するための基礎的能力
- (4) ICT(Information and Communication Technology)等を活用し、保健・医療・福祉などの現場において、専門職としてチーム医療を推進する基礎的能力
- (5) 専門職として自ら学び続け、研究的視点を持ち、ICT等を活用しながら自らの質向上を図る能力

【看護学科】

健康科学部看護学科では、生命科学系総合大学のなかで他学部との連携のもとに、保健・医療・福祉システムにおける自らの役割および他職種との役割を理解し、多職種と連携・協働しながら多様な場で生活する人々へ看護を提供できる人材の育成を目的としています。こうした人材を育成するために、以下の資質・能力を修得した者に学位を授与します。

- (1) 社会で暮らす人々を健康・環境・生活の視点から包括的に理解することができる能力
- (2) 看護の基盤となる豊かな人間性と深く幅広い教養を身につけ、人々との関係性を築く能力
- (3) 人々の多様な生き方や価値観を理解し、尊厳と権利を擁護した倫理観に基づいた看護を実践する能力
- (4) 社会や医療のニーズを理解し、科学的根拠に基づいた看護を提供するための臨床判断能力
- (5) 地域に暮らす人々と協働し、人々が住み慣れた場所でその人らしく生きることを支援する能力
- (6) ICT(Information and Communication Technology)等を活用し、保健・医療・福祉などあらゆる場において、看護専門職としてチーム医療を推進する基礎的能力
- (7) 看護専門職として自ら学び続け、研究的視点を持ち、ICT等を活用しながら看護の質向上を図るための基礎的能力

【医療検査学科】

健康科学部医療検査学科では、医学検査を実践するために必要な基礎的・専門的知識と技術を習得し、検体検査や生理検査によって得られた検査データを正確に医師へ提供するとともに、医療現場で高度なチーム医療を実践し、地域医療に貢献できる臨床検査技師の養成を目的としています。こうした人材を育成するために、以下の資質・能力を修得した者に学位を授与します。

- (1) 幅広い教養と豊かな人間性、確固たる倫理観を身に付け、医学検査を実践できる能力
- (2) 医学検査の専門的知識と実践的技術を身に付け、ICT(Information and Communication Technology)等を活用しながら科学の進歩および社会の医療ニーズに対応できる能力
- (3) 患者・家族と円滑なコミュニケーションをとり、修得した専門的知識を地域医療の場で活用することができる能力
- (4) チーム医療の一員として他職種の役割を理解し、自らの専門性を活かして患者中心の質の高い医療に貢献できる能力
- (5) 臨床検査専門職として自ら学び続け、研究的視点を持ち、ICT等を活用しながら臨床検査の質向上を図るための基礎的能力